

教えて!

富山  
けいざい



## コンビニの脱24時間営業って？

◆時間短縮容認の動き／背景に人手不足

Q－24時間営業をやめたコンビニがあると聞いたけど。

A－全国に5万店以上ある大手コンビニ店のほとんどが24時間営業を行ってきました。ところが昨年、東大阪市のセブン－イレブン加盟店が本部とのFC（フランチャイズ）契約に反し営業時間の短縮を強行しました。背景にあったのは「人手不足」です。アルバイトが集まらず、仕方なくオーナーが昼も夜も働いたようです。本部と交渉しても認められず、短縮営業を強行したのです。



Q－夜中はお客さんが少ないのに本部はどうして認めないの。

A－経費と関係なく売り上げに応じて手数料が入る仕組みのため、本部にとっては深夜1人でも客が来れば利益が増えます。また、一部の店が夜に閉店すると、全体の商品搬入に支障が出るためです。経済産業省によるアンケート調査では、コンビニ加盟店の約4割が本部に不満を感じているという結果が出ました。「働き方改革」の流れもあって、まずファミリーマートが原則容認することを決め、セブン－イレブンも本部の合意が必要という条件付きで時短容認に転じました。

Q－お正月の営業はどうだったの。

A－外食チェーンなどで元日営業を休止する店が増えており、コンビニオーナーから休業を希望する声が上がっています。コンビニ各社は、一部の店の元日休業に踏み切ったものの、都内50店の休業実験（セブン－イレブン）にとどまるどころもあり、今年の元日は全国のほとんどの店が営業しました。

Q－コンビニはどうなっていくの。

A－営業時間だけでなく、売れ残った食品廃棄で生じた損失も加盟店負担となるなど、現行のFC契約が時代に合わなくなってきています。キャッシュレス化など人手不足への対応も進めながら、時代の要請に応えた便利なコンビニになってほしいものです。

（北陸経済研究所の市川正が解説しました。随時掲載します）